

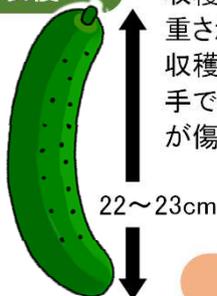


秋どり キュウリ栽培情報

いよいよ収穫の時期に入りました！秋なのに夏のような暑さが続いていますが、体調管理に気をつけて収穫を楽しみましょう。キュウリを使うレシピといえばサラダや酢の物、漬物といったさっぱりとしたメニューが多いですが、実は加熱しても美味しいことを知っていますか？今年の秋、冬は自分で収穫したキュウリをいつもと違う調理法で味わってみませんか？

キュウリ栽培のポイント

①収穫



収穫の適期は長さが22～23cm程度、重さが100～120gです。収穫する際は、ハサミを使用しましょう。手で無理やり引っ張ってしまうと、ツルが傷ついてしまいます。

キュウリが曲がるのはなぜ

果実が取れ始めて、しばらくの間は色や形のよい整形果が多く取れますが、次第に曲がり果などが多くなってきます。せっかく育てたきゅうりが曲がっていると、がっかりしますよね。キュウリが曲がるのは病気ではないので、もちろん美味しく食べられます。

キュウリが曲がる原因は主に3つです。

- ①【水不足】キュウリは約95%が水分です。そのため、水不足になると生育が阻害され、果実が十分に成長できずに曲がってしまいます。高温や乾燥しやすい時期は、特に注意が必要です。
- ②【肥料不足】速攻性のある化学肥料を散布して一日でも早い草勢回復に努めましょう。特に、カリが不足していると症状が出やすいので、成分がバランスの良い肥料を使用しましょう。
- ③【なり疲れ】キュウリは、放っておくとどんどん実をつけます。一度にたくさんの実をつけると、生育が衰え、果実が曲がったり、小さくなったりします。植物が栄養を果実に集中させることができず、成長が阻害されるためです。

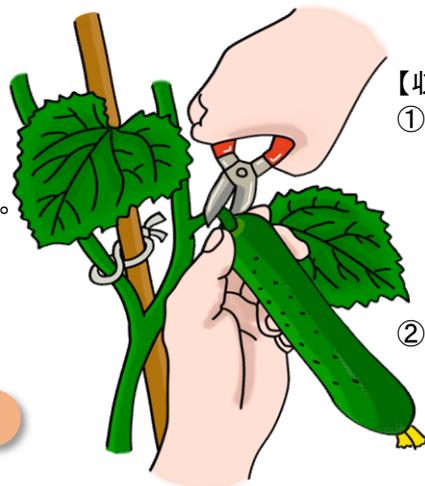
②病害虫対策

収穫が始まって油断せず、早期発見と発生初期の防除に努めましょう。特に、「うどんこ病」に感染してしまうと、収量が落ちるばかりか、果実に十分な栄養が行きわたらず、果実が曲がる原因にもなります。症状のひどい葉を取り、薬剤で防除して、病気の広がりを抑えるなど早めに対処しましょう。

うどんこ病の症状：粉を吹いたような白いカビが葉の表面に現れる。

【収穫のポイント】

- ① キュウリを取り残すと、株への負担が大きくなる為、盛期には朝・夕の2回収穫を行いましょう。
- ② 収穫直後のキュウリは、鮮度が低下しないように日陰に置きましょう。



【きゅうりが曲がる原因と対策】

原因	曲がり方	対策
①水不足	尻細り	水やりをこまめに行う、マルチング、追肥
②肥料不足	細いまま	追肥
③なり疲れ	大きくならない	摘果、追肥

